

株式会社 ファルマクリエ神戸

<http://www.pharmacrea.com/>

所在地 兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-16

代表者 代表取締役 谷口 泰造

創立年月日 2011年7月8日

資本金 600万円

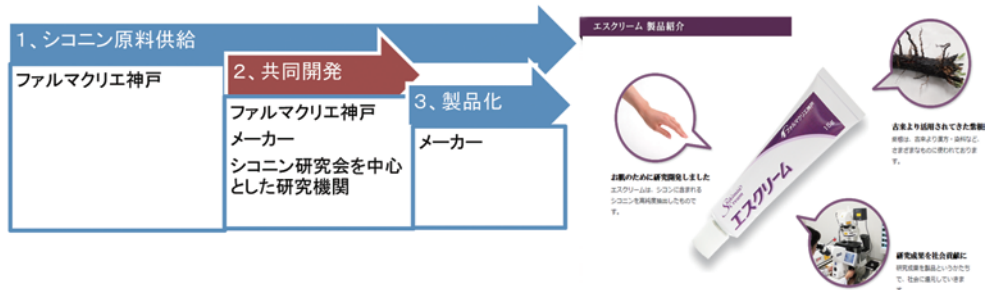
従業員数 3人

事業内容

株式会社ファルマクリエ神戸は大学発ベンチャーとして実績の西洋医学と経験の東洋医学の融合を目指し、化学・薬学・医学・獣医学の研究に携わる学者と医療の現場を熟知する医師・獣医師とのコラボレーションおよび、製品化と販売を担う企業とのネットワーク構築により産学共同の研究開発を実現することを目指して設立された。

古来より薬草(火傷・外傷・腫れ傷・凍傷・湿疹などの皮膚炎の消炎作用、真皮の再生等)、又、染料としても利用されてきたムラサキの根「紫根」に着目し、その主成分であるシコニンを高純度に抽出する技術を開発し、シコニンを配合した製品「エスクリーム」を発売した。「シコニン研究会」を中心とした各大学との研究チームはシコニンの効果を論文等に発表している。

シコニン製品化スキーム



知的財産活用事例

大学の研究室には斬新で、社会に役立つ沢山のシーズがある。しかしその多くは研究のための研究として行われていること、商品化するためのノウハウがないといった理由で上市されずにいる。現在、紫根の抽出物であるシコニンに焦点を当て、契約農家で栽培をお願いしている。シコニンに関する特許を2つ、「シコニン研究会」の会員の大学等から論文を関連学会に発表してもらうことでエビデンスを積み上げ、認知度をあげることを行っている。シコニンの効能効果を検証し特許化して製品に反映させていく予定である。

知的財産の創出や活用に関する取組

現在、紫根関連の特許を2つ出願している。シコニンは不安定なものなのでそれを安定化するものと効能に関するものである。平成25年3月には「シコニン研究会」を公益財団法人新産業創造研究機構(NIRO)のなかに設立し、姫路獨協大学、神戸大学、武蔵野大学、東京農業大学や企業が集まり定期的に研究会を行い、成果を特許、論文として発表することとしている。又、この抽出法は紫根や他の植物から多くの染料成分を取り出せるため、江戸紫に代表される染料としての紫根も必要であり、他の染色植物への応用を考えている。

起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

原料の特許を取るだけでは役に立たない。特に大学の特許は研究成果のためのものも多く、事業化まで考えられた特許はあまり多くない。そのため、周辺、追加の特許をとることで事業化に近づける必要がある。出口を見据え、事業化に繋がる追加の特許を抑えこ次の段階にすすめる。原料供給はあくまで共同研究を開始するためのもので、相手企業との共同での製品開発を行って初めて収益モデルとなる。